

令和5年度豊かな心を育む体験活動の充実事業 審査基準（評価項目、評価の観点及び配点表）

評価項目	分類別配点	評価の内容、観点
1 総論等		
事業内容全体の理解度	10	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨を正確にとらえた内容となっているか。 ・学校の教育活動として実施することを踏まえた提案となっているか。 ・本事業の趣旨、目的を踏まえたプロジェクト名称及びシンボルマークが提案されているか。
2 事務局の運営体制		
業務体制	10	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な業務運営に必要な事務局体制が整っているか。 ・統括責任者は業務実施に当たって必要な能力や経験を有した人選となっているか。 ・事務局体制・要員管理は繁忙等の状況変化に即応し、常に十分な体制を維持するものとなっているか。また、状況に応じて柔軟に対応できる体制となっているか。 ・人員配置計画は業務内容やスケジュールに沿っており、円滑な業務運営のために十分な体制となっているか。 ・島しょを含む都内全域の学校を対象に事業を実施する体制が構築されているか。
進捗管理	10	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務を遅滞なく遂行するために必要な進捗管理方法となっているか。 ・進捗状況について、常に東京都教育委員会と共有できる管理方法となっているか。
連携体制	10	<ul style="list-style-type: none"> ・業務において想定される関係機関との連携内容を想定し、円滑な運営体制をとれているか。
3 プログラムの企画		
プログラムの質	40	<ul style="list-style-type: none"> ・提案プログラムに具体性や実現性は伴っているか。 ・教育的な意義や効果が高い魅力的なプログラムとなっているか。 ・単なる鑑賞等にとどまらない、より深い体験ができるプログラムとなっているか。 ・なるべく多くの子供たちが参加できるようなプログラムとなっているか。 ・子供たちが安心・安全に参加できるプログラムとなっているか。 ・子供たちの興味・関心を惹きつけるような工夫がされているか。 ・特別支援学校の児童・生徒の参加への配慮がなされているか。
プログラムの多様性	40	<ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢に応じたプログラムとなっているか。 ・5つそれぞれの体験領域の中で、幅広いジャンルのプログラムが提案されているか。 ・校内、校外それぞれで実施するプログラムがバランスよく提案されているか。 ・2,000校を超える学校が希望したとしても、円滑に実施できるプログラム数となっているか。
4 プログラムの実施		
実施体制	40	<ul style="list-style-type: none"> ・実施に向けて、多くの学校と円滑に調整していくための考え方（体制や手法等）が具体的に示されているか。 ・実施にあたり、学校の負担が極力少なくなるような工夫がされているか。 ・実施当日、不測の事態が発生した場合等でも柔軟に対応できるような体制となっているか。 ・緊急時でも、スムーズに連絡が取れる体制が整っているか。 ・プログラムの調整・実施を行うにあたり、適正な規模の体制となっているか。
5 これまでの業務実績		
業務実績	20	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで日本国内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校とで本事業と同種の体験活動を行った実績があるか。 ・1年間で、どれくらいの実施実績があるか（多数の実績があるか）。
6 その他		
その他項目	10	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して、想定を上回るような魅力的な提案がなされているか。 ・費用対効果を意識した提案がなされているか。
7 政策的評価項目		
障害者雇用関係	5	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれかに該当があるか。 ①提出した障害者雇用状況報告書等において、実雇用率が法定雇用率を上回っている。 ②障害者優先調達推進法に規定する障害者就労施設等からの物品等の調達実績がある。 ・本事業の実施にあたり、障害者をスタッフ等として従事させる予定があるか。
仕事と家庭の両立支援・女性の活躍推進関係	5	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれかに該当があるか。 ①東京都産業労働局から東京ライフ・ワーク・バランス認定企業の認定を受けている。 ②東京都生活文化スポーツ局から東京都女性活躍推進大賞の表彰を受けている。 ③厚生労働省または都道府県労働局から次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク認定）を受けている。 ④厚生労働省または都道府県労働局から均等・両立推進企業表彰を受けている。 ⑤厚生労働省または都道府県労働局から女性活躍推進法に基づく基準適合一般事業主認定（えるぼし認定）を受けている。 ⑥女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定・公表をしている。

令和5年度豊かな心を育む体験活動の充実事業 審査基準（技術提案書記載事項）

評価項目	提案書記載事項
1 総論等 事業内容全体の理解度	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨や提案者に求められている役割について、提案者の理解を記載すること。 ・本業務の目的を実現させるための全体方針（コンセプトなど）について、具体的に記載すること。 ・本事業の趣旨や目的を踏まえたプロジェクト名称及びシンボルマークをそれぞれ1案提案すること。
2 事務局の運営体制 業務体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の実施体制図及び年間の人員配置計画を記載すること。また、事業を第三者に委託する予定がある場合は、予定先の体制及び委託内容を記載すること。 ・統括責任者の類似業務経験等客観的な指標を用いて、本業務に必要な能力等を備えた責任者が割り当てられていることが分かるよう記載すること。
進捗管理	<ul style="list-style-type: none"> ・実施状況の進捗をどのように管理していくか、東京都教育委員会とどのようにその情報を共有していくかについて具体的に記載すること。
連携体制	<ul style="list-style-type: none"> ・業務において想定される関係機関名とその機関との連携内容及び方法を記載すること。
3 プログラムの企画 プログラムの質	<ul style="list-style-type: none"> ・「協働して課題解決に取り組む体験」、「他者理解・共生社会を育む体験」、「科学・先端技術等に触れて学ぶ体験（STEM）」、「芸術・文化に対する理解を深める体験」については、特に推奨するプログラムについて、具体的な内容をそれぞれ5案程度示すこと。また、「オリンピック等の学校派遣」、「パラリンピアン等の学校派遣」については、派遣が可能なアスリート及び実施内容例をそれぞれ3案程度示すこと。なお、提案プログラム全体で、各校種（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）をカバーするものとする。以上に加え、体験領域ごとにどのようなプログラムが提供可能かについて、概要を示すこと。 ・客観的な指標などを用い、教育的な意義や効果が高いプログラムが提供されることが分かるよう記載すること。また、提案した5案ないし3案について、それぞれ募集要項に示した標準的な一学年規模で実施した場合の費用を記載すること。 ・単なる鑑賞に留まらない参加型体験など、より深い体験が実施できるプログラムについては、その具体的な内容を記載すること。 ・どのような工夫を行い子供たちの興味・関心を惹いていくか、具体的に記載すること。 ・子供たちが体験活動を安心・安全に参加できる仕組みについて具体的に記載すること。 ・特別支援学校の児童・生徒が参加できるプログラムは、そのことが分かるよう記載すること。
プログラムの多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのプログラムの対象校種を記載すること。 ・実施を予定しているプログラムの種類や数を示すこと。また、どのようなコンセプトや考え方で提案内容に至ったかを具体的に記載すること。
4 プログラムの実施 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・校種や学校規模が異なる2,000校以上の学校からの申込に対して、受付から実施まで、どのように円滑に調整していくのかについて体制や手法等について記載すること。 ・学校の希望によりプログラムが選択される中、提案価格内でどのように運用していくのか、その具体的な運用の考え方等について記載すること。 ・複数のプログラムを学校に提供し実施していくにあたり、多くの関係機関・団体等と連携していく必要が出てくるが、実施費用等について、どのように効率化を図っていくかについて記載すること。 ・実施当日の体制や緊急時の体制を記載すること。
5 これまでの業務実績 業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学校と契約した実績が分かる一覧を提出すること。（件数が多い場合は、代表的な案件を抽出すること） ・本事業で行う体験に関連するもので、学校向けに実施した体験、子供向けに実施した体験等の実績があれば、日時、場所、実施内容等を具体的に記載すること。（件数が多い場合は代表的な案件を抽出して記載すること） ・学校向けの体験実施実績（本事業で行う体験以外も含む）について、過去5年間のうち、最も多かった年の実施件数を記載すること。
6 その他 その他項目	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業実施に当たって、費用対効果を踏まえた取組や更なる工夫・有用な提案があれば、その根拠とともに具体的に記載すること。
7 政策的評価項目 障害者雇用関係	<ul style="list-style-type: none"> ・該当がある場合、法定雇用率の状況や障害者就労施設等からの調達実績が分かる資料を提出すること。 ・本事業実施にあたり障害者をスタッフとして従事させる予定がある場合は、具体的にどのような役割で活用する予定かについて記載すること。
仕事と家庭の両立支援・女性の活躍推進関係	<ul style="list-style-type: none"> ・該当がある場合、取得、認定等の状況が分かる資料を提出すること。